

2002 年度（第 25 回）日本学生オリエンテーリング選手権大会

実行委員会からのお知らせ

発行日：2003 年 2 月 15 日

発行者：日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会

発行責任者：三浦 千鶴（e-mail：chizu@orienteering.com）



日本学生オリエンテーリング選手権大会（以下インカレ）実施規則の不適用事項と変更内容について、以下に記載する。（要項 3 未発表）

インカレ実施規則の不適用事項

- ・ 登距離オーバーについて
選手権の部の男子クラシック（ME）において登距離が 6%を超える見込みのため、実施規則 15.4 における以下の内容を不適用とする。

第 15 条 距離と登距離

15.4

登距離は最も速く走れると予想されるルートでの登距離で示される。登距離は最も速く走れると予想されるルートの距離の 6%を越えないように設定される。

本来は要項 3 にて発表すべき内容ですが、大会準備の遅れのため、間に合いませんでした。

- ・ 地図縮尺変更について
要項 2 において既に発表しているクラシックの地図の縮尺について、1:15000 から 1:10000 に変更し、実施規則 16.3 における以下の内容を不適用とする。尚、等高線間隔、通行可能度表示について変更は無い。

第 16 条 地図

16.3

クラシックに使用する縮尺は 1 万 5 千分の 1 で、等高線間隔は 5 m とする。トレインを適切に表現するための、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、大会コントローラーの同意を必要とする。

インカレ実行委員会はより良いレース環境を提供したいとの観点に立ち、クラシックに使用する地図縮尺を変更することにしました。地図作成と試走の結果、クラシックの競技範囲は予想以上に地形が細かく、縮尺 1:15000 の地図では地形を読み取りにくいことが判明しました。

地図縮尺変更の発表が遅れた理由については、地図作成の進行や、それに伴う遅れ試走などが遅くなったことが挙げられます。

地図縮尺 1:15000 を想定して準備をされてきた参加者の皆さんには申し訳ありません。

しかし、縮尺 1:10000 の地図においても細かな地図読みが要求されることには変わりはありませんし、縮尺 1:15000 の地図を想定して練習してきたことは決して無駄にはなりません。縮尺変更を直前に行うことで参加者にとって上記のようなデメリットがありますが、それ以上にメリットの方が大きいと判断しています。